

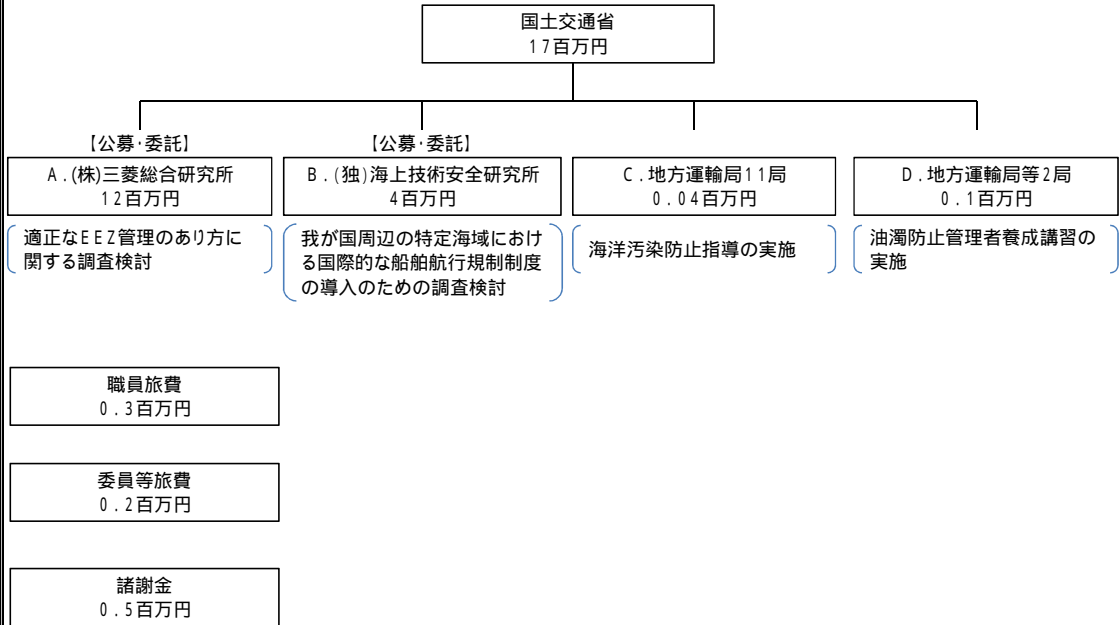
平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	海洋・沿岸域環境の保全等の推進		担当部局	総合政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年～		担当課室	海洋政策課		課長 米田 浩		
会計区分	一般会計		施策名	4 海洋・沿岸域環境や港湾空間の保全・再生・形成、海洋廃棄物処理、海洋汚染防止を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	海洋基本法 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律		関係する計画、通知等	海洋基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	適正なEEZ管理のあり方に関する調査検討、海洋・沿岸域環境保全のための船舶に対する国際的規制の検討、海洋・沿岸域環境の保全に資する海洋汚染防止制度の普及啓発など、海洋基本法(平成19年度成立)及び海洋基本計画(平成20年閣議決定)に基づく施策を着実に実施し、海洋・沿岸域環境の保全等の推進に資することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	適正なEEZ管理のあり方に関する調査・検討を行う。 海洋汚染の防止のため、IMOで認められている、船舶に対する国際的規制に関する調査・検討を行う。 海洋汚染防止講習会及び油濁防止管理者養成講習(法定講習)を開催する。							
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	22	17	19	13	12	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	22	17	19	13	12	
	執行額	17	14	17				
執行率(%)	77.3%	84.4%	92.6%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	我が国の沿岸に重大な被害を及ぼす海洋汚染等の件数		成果実績	件	0	0	0	-
			達成度	%	100	100	100	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	検討会開催の回数		活動実績 (当初見込み)	回	3	5	5	(5) (4)
			活動実績 (当初見込み)	回	5	5	5	(5) (5)
単位当たり コスト	3,400(千円/回)		算出根拠	17,075千円(実績額)/5回(会議回数等) 海洋マネジメントビジョン検討委員会 3回 船舶からの大気汚染物質放出規制海域(ECA)に関する技術検討委員会2回				
	70(千円/回)		算出根拠	356千円(実績額)/5回(会議回数等) 海洋汚染防止指導講習会 3回(東北、近畿、九州) 油濁防止管理者講習会 2回(関東、近畿)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	(本省分)			事業内容の重要性を精査し、海洋環境対策調査費において要求額の減。				
	諸謝金	0.3百万円	1百万円					
	職員旅費	0.3百万円	1百万円					
	委員等旅費	0.4百万円	1百万円					
	海洋環境対策調査費	12百万円	9百万円					
	(地方分)							
	諸謝金	0.1百万円	0.1百万円					
職員旅費	0.4百万円	0.4百万円						
委員等旅費	0.02百万円	0.02百万円						
計	13百万円	12百万円						

計数は、原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】</p> <p>事業全体の中で、特に重要性等がある内容を選定し、業務発注の内容とすることで、効率的な予算執行、コスト削減の推進を図った。適正なEEZ管理のあり方に関する調査検討・船舶に対する国際規制に関する調査検討については、事業を実施するにあたり、調査・検討の方針、調査手法、調査結果の集約・整理等について、委託事業者と当課職員の間で打合せを行っている。最終的には、報告書の内容により、本事業が適切に実施されたことを確認している。また、海洋汚染防止講習会・油濁防止管理者講習会については、22年度の開催場所・人数等を、過去の講習実績や地域間のバランス等を踏まえて決定している。</p> <p>我が国の排他的経済水域を適切に管理し持続可能な発展を図ること、船舶起因の海洋汚染防止を図ること、又は海洋汚染防止法の趣旨を周知することはそれぞれ必要な事業であり、また、その手法も適切なものと考えられる。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		事業の内容を精査し、重要性、必要性を判断した上で、より効率的な予算執行が可能な改善を図るべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
チーム所見を踏まえ、事業内容の重要性を精査し、要求額に反映。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.(株)三菱総合研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	研究者	11			
その他	旅費、印刷費等	1			
計		12	計		0
B.(独)海上技術安全研究所			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	旅費、システムデータ購入費等	3			
人件費	研究補助者	1			
計		4	計		0
C.地方運輸局11局			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	旅費	0.04			
計		0.04	計		0
D.地方運輸局等2局			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	謝金、委員等旅費	0.1			
計		0.1	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.(株)三菱総合研究所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	適正なEEZ管理のあり方に関する調査検討	12	随意契約	
2					
3					
4					

B.(独)海上技術安全研究所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)海上技術安全研究所	海洋汚染の防止のため、IMOで認められている、船舶に対する国際的規制に関する調査・検討	4	随意契約	
2					
3					
4					
5					

C.地方運輸局11局

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	地方運輸局11局	海洋汚染防止指導にかかる経費(旅費)	0.04	-	
2					
3					
4					
5					

D.地方運輸局2局

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	地方運輸局他2局	油濁防止管理者講習にかかる経費(謝金、委員等旅費)	0.1	-	
2					
3					
4					
5					